



いながき

議会活動報告・新庁舎特集号  
新庁舎  
**吉川ブランド全国発信へ**  
～基本設計(案)を公表～



いとう

新庁舎設計のコンセプトは▽まちづくり、市民交流の拠点▽開かれた愛着のもてる庁舎▽地球にやさしく安全・安心▽コンパクトで使いやすいが柱。「吉川ブランド」の発信は、計画の段階から設計へ。26 年度に実施設計。27 年度～28 年度建設。28 年中の引越しを予定しています。

1 月 31 日。吉川市は市議会の全員協議会でこの新庁舎の基本設計案について説明。(株)佐藤総合計画の担当者が設計の概略を図面をもとに紹介した。市は基本設計案を 2 月 10 日をメドに公共施設の窓口で公開。ホームページに掲載するとともに 2 月 10 日から 3 月 10 日までパブリックコメント(市民意見の募集)を実施。2 月 11 日にはおあしすで住民説明会が開催されます。

**<ガラス張り 3 階建て。現在の 2.5 倍のスペース>** 庁舎の位置は敷地の南側。一般駐車場など現在の配置状況はそのまま。東口側(運動公園)出入り口からおあしすまでのメインロードはいまより幅 7m 程駐車場寄りに。公用車(54 台)駐車場は幅 3m の緑地帯を設けて庁舎南側に。

3 階建て正面の北側と南側は総ガラス張り。出入口は 4ヶ所に。のべ床面積は 8460 m<sup>2</sup>。現在の 2.5 倍の規模に。市民に開放の共同部分や会議室のスペースは現状より大幅に拡充することに。(裏面に関係平面図など)

**<多目的スペース。サロン。市民ギャラリー。>** 市民に開き、愛される庁舎。1 階を中心に市民との共有スペース。おあしす側に多目的ルーム(200 m<sup>2</sup>余)。サロン、ロビーのスペース。市民ギャラリー。会議室も。執務ゾーンは窓口業務を集めてワンストップのサービスに。思い切った吹抜けで解放感。バリアフリー。透明ガラスのエレベーター。正面玄関前はおあしすと連動のプロムナード。ぬれずに移動も。トイレ。売店。キッズコーナー。ATM。間仕切りや出入り口は実施設計に向けてさらに詰めることになります。

**<免震構造。非常時の発電。みどりの配置一。>** 安全、安心で快適な庁舎。新庁舎は災害時のセンター。免震構造の採用。落下防止対策。太陽光発電の導入。非常発電機は 3 日間の電力を維持、供給。高断熱のガラス・素材。浸透性舗装。自然通風・採光。洗浄水の雨水利用。屋上緑化・テラス。住宅側(南側)は幅 3m のエリアに生け垣。東側に 2 階建ての倉庫。南側には平屋の車庫など。机、椅子など備品は一新の方針です。

**<建設費は上昇。どう仕上げるのか>** 4 月からの消費税アップ。資材値上り。作業員不足。全国的に建設費は上昇。想定 30 億 2 千 6 百万円の費用では相当不足することは確実な情勢。コンパクトで使いやすい庁舎として仕上げるにはまだまだ多くの課題。これからです。

## お知らせ

## 「新庁舎」住民説明会

市担当職員と設計業者が基本設計(案)について説明。公開で質疑も受けます。

場所 おあしす

日時 2 月 11 日(祝)

午前 10 時～午前 11 時 30 分

午後 1 時 30 分～午後 3 時

どうぞお出かけ下さい。

いながき 茂行 栄町 782 番地 1C-1101 TEL 983-1628

E メール iimachi.yoshikawa@gmail.com

いとう 正勝 きよみ野 2-8-2 TEL&FAX 983-1117

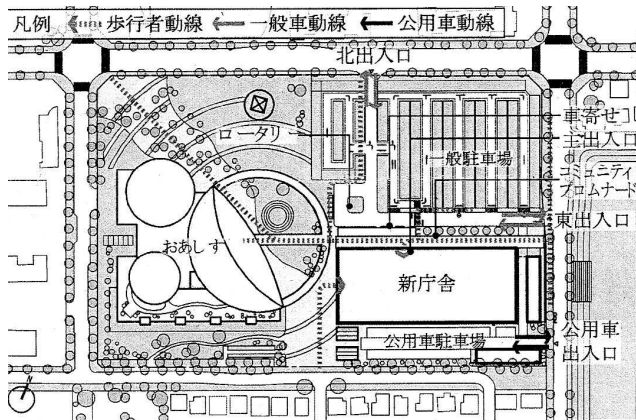
E メール itoh72@nifty.com

\*市民改革クラブのホームページは いながき茂行のサイトと

統合しました <http://www.inagaki-s.com>

# 吉川市新庁舎 基本設計(案) 概要 (平成26年2月)

## <新庁舎配置図>



## 今後の事業予定

▽25 年 3 月基本設計確定▽26 年度実施設計。  
建築工事手続き。▽27 年度～28 年建設工事。  
▽28 年度中の竣工・引越し。

## 計画概要

### ■敷地概要

建設予定地 埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地  
用途地域 第二種住居地域(きよみ野地区地区計画)  
敷地面積 約 15,000 ㎡  
法定建蔽率 60%  
法定容積率 200%  
駐車場 来庁車: 302 台(おあしす利用含む) 公用車: 50 台

### ■建築概要

建築面積 約 4,250 ㎡(庁舎棟: 約 3,800 ㎡ 付属棟: 約 450 ㎡)  
延床面積 約 9,110 ㎡(庁舎棟: 約 8,460 ㎡ 付属棟: 約 650 ㎡)  
計画建蔽率 約 28%  
計画容積率 約 61%  
構造・規模 【庁舎棟】免震構造、地上3階、地下なし  
【付属棟】耐震構造、地上1階(一部2階、地下なし)

### ■電気設備概要

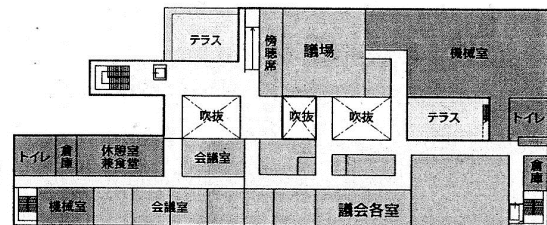
受変電設備 屋内閉鎖型配電盤 1,650kVA 程度  
発電機設備 500kVA 程度(72 時間容量オイルタンク)  
照明設備 照度: 執務室 750lx 程度  
制御: 初期照度補正、昼光制御、人感センサー  
直流電源設備、幹線動力設備、太陽光発電設備  
情報通信設備、インターホン設備、情報表示設備  
議場映像音響設備、自動火災報知設備等

### ■機械設備概要

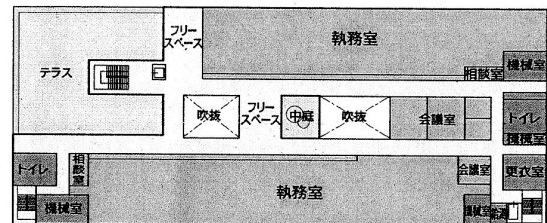
建設予定地 ガス冷温水発生機、空冷ヒートポンプチラー  
空調設備 単一ダクト(一部ファンコイル併用)方式、  
空冷ヒートポンプパッケージ、一部地中熱採用  
換気設備 第一種及び第三種換気  
給水設備 飲料水(上水)、雑用水(中水)の2系統  
給湯設備 電気温水器及びガス瞬間湯沸器による局所方式  
排水設備 屋内汚水雑排水分流、屋外汚水雑排水合流雨水分流方式  
消火設備 屋内消火栓  
ガス設備 空調用、給湯用  
その他 自動制御設備、雨水再利用設備

※この新庁舎建設の基本設計(案)概要は、吉川市が先に市議会に提示・説明したものの一部抜粋です。

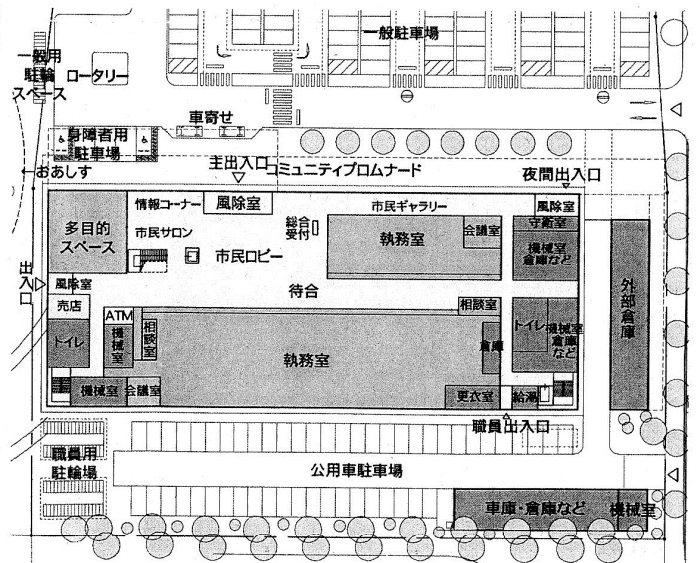
2月10日より中央公民館など公共施設の窓口で公開。市ホームページにも。パブリックコメント(市民意見)は2月10日～3月10日の期間で受け付けています。



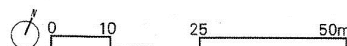
■3階平面図



■2階平面図



■1階平面図



### 凡例

共用部ゾーン (廊下、ロビー、階段、EV) 執務室ゾーン 会議室ゾーン サポートゾーン (倉庫・更衣・機械室)  
議会ゾーン

※今後の検討により内容が変更する可能性があります。

# 100年の大計—使いやすく。未来への遺産に

**28年竣工へ。  
これからが大事です**

**いとう 正勝**

プロの手による基本設計（案）が提示された。3・11の大災害を受けて庁舎建設検討委員会（有識者、市民、市議会代表）が発足。現庁舎の問題点や安全・安心の確保の重要性。新庁舎をおおしず隣接地にスピード感をもつて建設することの報告書を提出。24年8月。吉川市は庁舎建設本部を設置し、基本理念として「安全で快適なまちづくりの拠点として市民とともに歩む開かれた庁舎」を確認。28年竣工を目標に、

基本構想を固め設計業者等を選定。意見交換、調整作業を行い、今回の基本設計（案）提示まできました。

21世紀の庁舎はどうあるべきなのか。50年後、百年後にも耐え得る「未来への遺産」にしたい。基本設計はこの3月中旬に確定し具現化に向け、いよいよ実施設計に入るようになります。

## 実施設計と並行し 庁舎活用委員会の 早期発足を

新しい時代の庁舎。「吉川ブランド」の全国発信へ。建設資金など費用の捻出に目配りし、どう創り、仕上げるのか。ハード面での様々な工夫とともに運用、運営を前提にした市民目線での取り組みが必要です。「開く」。―常時開放、共同利用、臨時や非常時使用・開放と色々です。多目的スペース、サロン、テラス。多くの会議室や市議会関係の施設はどこを、どこまで開くのか。出入口、間

仕切り、照明。机、イスなど備品のありようや配置。トイレは、売店は、キッズコーナーは。どんなイメージ？どう運営するの？「後悔先に立たず」事が終わったあとでは間に合いません。

実施設計と並行して早期に活用のための「市民委員会」を発足させ―意見を集約して提案―反映する仕組みを作るべきだと思います。

## 財政を見通し 総合的に計画的に

新庁舎建設で市民負担が増えないか。教育や福祉の費用が削られ、しわ寄せを受けないか。懸念する声があります。事業費は建設費が概算で30億2千6百万円。企画・設計、引越して4億7千8百万円を見込んでいます。その後4月からの消費税3%、来年10月さらに2%のアップ。東北復興の本格化。オリンピックの準備事業も始動。インフレ率2%は政策目標。地盤調査で支持層は深さ52mで

あることもわかり、経費の増額はさけられない情勢です。

どう捻出するのか。できるのか。庁舎建設のための基金は26年3月時点で16億6千万円。現庁舎用地は一部を残して売却の方針ですが―。

学校給食センター 28年度竣工▽新駅周辺の開発整備事業。27年度都市計画決定、着手へ▽吉川美南中学校新設―30年頃には判断▽吉川橋と延長道路整備▽334号線（さくら通り）の延長拡幅など財政負担が必要な多くの課題。少子、高齢社会の進展に対応する各種の備えもあります。資金捻出。財政運営。知恵を借り、ムダをなくす。将来を総合的に展望する中で着実な市政運営がこれまで以上に求められます。

大事な時です。点検・検証し、具体的に提案、チェック。そして情報の確な提供につとめて参ります。「一緒にいいまちを創りたい」との思いを胸に今後とも発言活動して参ります。



# 議会関連施設は、コンパクトで機能的に!



## 議会関連施設

議会関連施設についてはこれまで、『議会関連諸室検討会』の中で必要な諸室と数等について議論を重ね、議会としての考え方を執行側に伝えてまいりました。

諸室は、本会議場(傍聴席)・全員協議会室兼委員会室・正副議長室(応接室)・会派控室・議会事務局室・図書室(印刷室)・相談室・給湯室・トイレを設置し、全員協議会室兼委員会室と会派控室については、多様かつ柔軟に変化に対応できるよう移動間仕切りで分割できる様、求めています

議場の床はフラット化(議長席は高さを設ける)し、机は半固定、いすはキャスター付。傍聴席は40席を目安に疲れない無理のない配置とし、モニターカメラを設置。委員会室は3室に区分け、傍聴席が不足した場合やお子様連れの傍聴者に議場の様子を映像で見られるよう要望しています。

## コンパクトで機能的な施設に!

議会関連施設についても、新庁舎基本計画の方針を受けた設計趣旨・コンセプトを具体的に見える形にすべきだと考えます。

議会の役割は行政のチェックであります。市の政策や事業の適否、優先順位等について議論を尽す場です。事業の必要性と成果を確認し、予算・決算(お金の使い方)に反映させることが最大の役割です。それを行う為の施設が議会関連施設です。

豪華な内装、フカフカのじゅうたん、座り心地の良い椅子等は必要ありません。議論の質や中身とは無関係です。また、議場や委員会室等施設を貸し出し・開放して市民の利活用を図るのは当然です。年4回の議会(3・6・9・12月)で、実際に使用しているのは合計で1か月余りです。市役所や議会をより身近なものにし、『協働のまちづくり』を進めて行くうえでも大切な事と考えます。

## 実施設計の中で詳細を検討

26年度は実施設計、27年度からは建設工事が始まります。災害対策本部としての機能を備え、環境にも配慮した簡素で経済的な庁舎で、かつ市民に開かれ(市民参加・市民間交流の促進)、将来への変化(合併等)にも対応できるモデル庁舎にしなければなりません。

市民改革クラブとしては、これらの実現に向け積極的に提言をするとともに、TV カメラの導入、ペーパーレス化(パソコンの活用)、通年議会等の調査・研究を進めて参ります。

庁舎建設は、市民の大切な税金を使う一大事業です。出来上がってから『こんなムダな庁舎はいらない』と言っても手遅れです。パブリックコメントへは、将来を見据えて具体的な意見・提案を提出いただく様お願い致します。

(いながき記)

## 編集後記

美南風 (みなみかぜ)

▽雪が降り、冷たい風が吹く。「春は名のみー」を実感させる季節だが、一足早く美南の風をお届けしたい。

あたたかい光が降りそそぐ校舎心地よい風が吹いてくる

く 中略

美南の学び舎 明日へのとびら

▽モダンな美南小学校。これは新しい校歌の一節。児童を中心に先生、保護者にもアンケート… 作詞は「美南小学校の皆さん」。

作曲家の小林真人さんがメロディ。何度か手直し、試聴し作り上げたという。

▽春の運動会で隣り合わせの校長と校歌をめぐって話をし、11月に立ち

寄った際「二稿目」の校歌を耳にした

たが、「今様」のさわやかさ。

各フリーズのはじめに「休符」があり、

はずむリズム。学校名がストリートで出てこないのも新鮮です。

▽三輪野江小学校の校歌は土井晩翠、下総皖一。

当時の人々の心意気を今に伝えるものですが、この美南小の皆さんの「手

づくり」校歌には、地域の息吹、人々の

熱い思いがこもっています。

新たなり  
手づくり校歌  
美南風

(いとう記)